事例No.	1374
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	福島県会津若松市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・EBPM ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

集積計画に向けた合意形成と意向調査の優先順位の決定

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

福島県　会津若松市（集積計画に向けた合意形成と意向調査の優先順位の決定）

- 会津若松市では、森林所有者の森林経営に対する意欲の低下に伴い、経営管理が行われていない私有林のうち人工林に対し、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する方針。
- 令和２年度においては、以下の事業を実施。
  - ・令和元年度に意向調査を実施し、市に委託を希望する４４．７haについて、経営管理権集積計画の作成に向けた森林の境界の明確化を実施。
  - ・令和３年度以降の意向調査の実施に向け、１，８５５haの私有林人工林における森林整備の基本方針と意向調査実施に向けた全体計画を作成し優先順位を決定するための準備業務を実施。
- 令和３年度においては、３林班・８５haの意向調査を実施予定。また、境界確認が終了した２林班・４５haについて、経営管理権集積計画を作成し、経営管理実施権配分計画の作成へつなげる予定。

□　事業内容

1　経営管理権集積計画作成に向けた合意形成

- 令和元年度に実施した意向調査において、市へ委託を希望した私有林人工林について、森林の境界の明確化を実施。

【事　業　費】１２，９２５千円（全額譲与税）

【実　　績】４４．７ha

2　意向調査の優先順位の決定

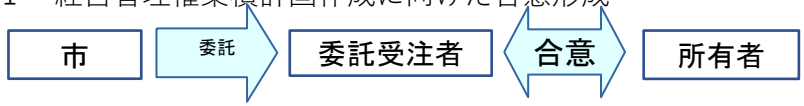
- 市内全域の私有林人工林における森林整備の基本方針と意向調査の全体計画を作成し、令和３年度以降の意向調査の優先順位を決定するための準備業務の実施 。

【事　業　費】５，７２０千円（全額譲与税）

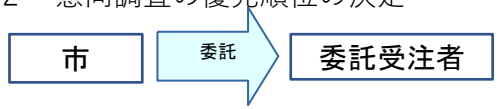
【実　　績】１，８５５ha

□　事業スキーム

1　経営管理権集積計画作成に向けた合意形成



2　意向調査の優先順位の決定



□　工夫・留意した点

- １の事業において、森林所有者との現地確認による合意形成が着実に行われるよう留意した。
- ２の事業において、市森林整備計画や森林経営計画との整合性を勘案し、林班ごとの現状と課題を整理しながら進めた。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	２７，６０２千円
②私有林人工林面積（※１）	２，３７５ha
③林野率（※２）	５４％
④人口（※３）	１２４，０６２人
⑤林業就業者数（※３）	１１２人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より